



プロジェクト名称

candle night

活動状況報告 & 活動写真など【活動期間：2012年10月1日～12月31日】

目次		頁
10月	<u>candle night@toyosu campus</u>	1
11月	11月2日・3日 candle night@toyosu campus 当日	3
	<u>春野小学校土曜日チャレンジ教室</u>	5
12月	12月1日 キャンドル教室@春野小学校 当日	6
	<u>candle night@omiya campus</u>	6
	12月11日 candle night@omiya campus 当日	7
	<u>candle night@atre 川崎</u>	8
	12月22日 candle night@atre川崎 当日	9

candle night@toyosu campus

今年度の目標である学生プロジェクト「candle night」の認知度向上を図るため、芝浦工業大学豊洲キャンパスにて今年の芝浦祭のテーマでもある 39+1= コラボレーションとかけて、夜店企画とキャンドルナイトのイベントを行うことで、本学学生並びに豊洲地区に住まれている地域の人々、芝浦祭訪問者の方々に認知して頂き、でんきの明るさだけに頼らず、ろうそくの明かりの大切さを知り、省エネやエコについて考えを増やしてほしいと考え企画致しました。

企画内容としては、手作りキャンドルチャリティー販売、手作りキャンドル体験教室を行い、直に触れて感じてもらう機会を設け、また、夜店企画との合同でインスタレーションを行い、視覚的にも感じてもらう機会を設けた。

◆チャリティーキャンドル販売

東日本大震災の被災地のために何か出来ることはないかと考え、手作りキャンドルのチャリティー販売を行うことにした。自分たちで作成したキャンドルを1つ300円で販売し、売上金全額を日本赤十字社を通じて東日本大震災の義援金として寄付する。

10月

- 作品アイデア発表・試作品の作成・試作品の確認・企画書作成・場所決定・実行委員メンバー決定
教室・チャリティー班が手作りキャンドル体験教室・手作りキャンドルチャリティー販売、インスタレーション班がキャンパス広場のインスタレーションを担当決定。
- 学校への説明 机・椅子等の貸し出し、消灯願い、企画書の提出





●インスタレーション班 校舎で利用する作品の施策・完成・最終確認、配置計画完成

○各作品個数

三角柱(1辺300mm*h600~1820mm) 130本

秋の和紙 20個

オブジェ 3つ

ポップアップlogo 1枚

毛糸玉 20個

11月2日・3日 candle night@toyosu campus 当日

キャンドル教室 11月2日(土)・3日(日) 10時~16時



チャリティーキャンドル販売 11月2日(土)・3日(日) 10時~16時



●イベント当日の状況

2日間という初めての試みもあった中、多くの本学学生・関係者、地域住民の方々に直に触れて感じてもらった良い機会だったと感じた。キャンドル教室においては、1日目は平日ということもあり、他団体や留学生の方が体験して頂き、2日目は土曜日ということもあり、学内のみならず地域住民の方々も参加して頂き、多くの方々に参加頂けた。がしかし、一度に集中して来客されると作業スペースの小ささにより案内等でかなり待たせてしまい、待機場所の確保、材料や器具等々の不足が目立つ結果となった。チャリティーキャンドル販売においては、キャンドル教室を体験した方やcandle nightのイベント中に販売を行い、興味を持ってくださり、早くも完売している作品も多くあった。チャリティー活動での収益金は全額赤十字社へ寄付します。

キャンドル教室参加人数2日間合計 **約130人**

チャリティーキャンドル販売2日間合計売上金額 **41,464円**



インスタレーション 11月2日(土)・3日(日) 17時~20時 candle night 開催



●イベント当日の状況

2日間という初めての試みもあった中、メンテナンス等メンバー皆がよく働いてくれた。多くの本学学生・関係者や、地域住民の方々に見て感じてもらえた良い機会だったと感じた。実際に豊洲校舎という大空間で空間的にボリュームが出せるか不安だったが、三角柱は130本以上と準備がしっかり出来たため予想以上に良かった。また、芝浦祭初となる夜店企画とのコラボレーション企画ということで、テーブルや椅子を設置していたため、多くの方々にゆっくりとしたスローな時間を過ごして頂けたのではないかと感じた。しかし、高さのある三角柱において、豊洲校舎の風が想像以上のもので耐久力がなく倒れることが多く見受けられ、更なる安全性の向上が必要不可欠であった。

キャンドルナイト 来場客数2日間合計 **約200人**

春野小学校土曜日チャレンジ教室

地域交流の一環として春野小学校の課外活動の時間を使用させて頂き、キャンドル教室を行う。子供たちにも親御さんにもろうそくの温かみや良さを知って頂き、家庭でも利用して頂けたらと考え、企画致しました。日時が12月であるためクリスマスツリーキャンドルの作成と、その土台となるリースを作成することに決定。

11月中旬～

●作り方の用紙作成、教室で見本掲示する作品の施策・完成、教室で使用する材料の作成

リースは、基本のベースは私たちが作成し、その後の装飾・盛付は子供たちに作成してもらうことで、子供の創作意欲を大切にしたい。また、クリスマスツリーは、パラフィンワックスという特殊なろうそくを使い、ホイップ・キャンドルを利用し、簡単に且つ、早く固まるキャンドルを使用した。

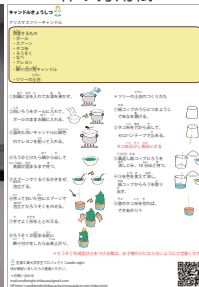
○各作品個数

ツリー 60個

リース 30個



<作り方用紙>



キャンドル教室 当日 12月1日 (Sat) 9時～11時



●イベント当日の状況

予め先生方から子供たちの集中力は1時間程度だと説明を受けており、簡単な手順で作成するために、空き時間の有効活用等工夫を施した。安全面には非常に配慮し先生にも協力して頂き、子供たちも楽しそうにキャンドルを作成しており、ろうそくの温かみや身近さを体感してもらえた良い機会だったと感じた。

キャンドル教室参加人数 **約40人**



candle night@omiya campus

芝浦工業大学大宮キャンパスにて平日の夕方にキャンドルナイトを行うことで、本学学生の方々の認知度向上を図り、でんきの明るさだけに頼らず、ろうそくの明かりの大切さを知り、省エネやエコについて考えを増やしてほしいと考え企画致しました。また、12月22日atre川崎でのキャンドルナイトのスタディの一環でもあり、大規模ではない、小規模なキャンドルナイトを目的として行う。

企画内容としては、アカペラサークルの方々とのコラボレーション企画を行い、鑑賞ブース用に机と椅子を設け音による集客をし、また、イラストレーションを行い視覚的に感じてもらう機会を設けました。

11月中旬～

- テーマ決定・作品アイデア発表・試作品の作成・試作品の確認・企画書作成・場所決定・実行委員メンバー決定

テーブル班がテーブル周辺、インスタレーション班がピロティ空間を担当決定。

- 学校への説明 机・椅子等の貸し出し、消灯願い、企画書の提出
- 作品 テーブル班・インスタレーション班 試作品の作成・本制作
- 広報 ポスターの作成、キャンドルナイトを呼びかけるチラシの作成、SNSによる告知
- HPの大規模リニューアル <http://candlelightshibaura.businesscatalyst.com/index.html>

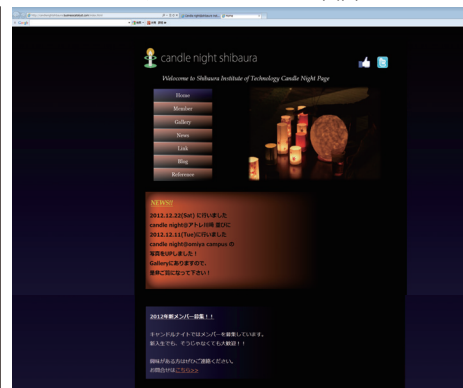
<広報用ポスター>



<広報用チラシ>



<HPリニューアル Home画面>



12月

<インスタレーション班>

- 試作品の作成・本制作、作品の施策・スタディ

各作品の素材から光を出すのか、他から光を溢し出すのか等、キャンドルの光が適度に出ているか検討し、高さや量のある作品にはプラスチック段ボールやスノーマや和紙など低コストな素材を利用し、作成。

- 配置計画の検討・完成、当日マップの作成



<テーブル班>

●テーブル上、周辺に置く作品の施策・スタディー

各作品でサンタにおいて、火を灯した時に暗くなるのを防ぐため、ひげを綿で作る、装飾を簡易にするなどの工夫をした。よりサンタクローズらしく見せるため、プレゼントやプレゼント袋と一緒に配置。また、お家に関しては、煙突の見た目のデザインや大きさは勿論、安全面も兼ねてキャンドルの火の熱を逃がす役割もあり、スチレンペーパーを使用し、暖かな部屋の灯りを表現。



○各作品個数

サンタクローズ 20個

お家 10個

12月11日 candle night@omiya campus 当日

12月11日(火) 18時~20時 candle night 開催



●イベント当日の状況

アカペラサークルとのコラボレーション企画を行い、多くの本学学生に来場して頂けた。キャンドルに灯される中、アカペラの綺麗なハーモニーが奏でられ、スローな時間を過ごして頂けたと感じた。しかし、机の配置がアカペラ方向のみだったため、インスタレーションの鑑賞を目的としての着席はなかった。また、大宮キャンパスにおける風対策が甘く、安全性の問題が浮き彫りになり、いくつかの欠点が露呈した。atre川崎に向けて安全面向上も含めたブラッシュアップが出来るため、とても良い機会だと感じました。

キャンドルナイト来場客数 **約100人**





candle night@atre川崎

atre川崎にて休日の夕方~夜にキャンドルナイトを行うことで、買い物に訪れた一般の方々に、キャンドルナイトの存在を知ってもらい、イルミネーションとは違った、キャンドルの温もりや幻想的な風景を肌で感じてもらう、ろうそくの良さを再認識してほしいと考え企画致しました。

企画内容としては、Starbucks Coffee さんとのコラボレーション企画を行い、机と椅子を設け、その周辺に手作りキャンドルを配置し、また、インスタレーションを行い、視覚的に感じてもらう機会を設けた。

12月

- テーマ決定・作品アイデア発表・試作品の作成・試作品の確認・企画書作成・場所決定・実行委員メンバー決定
- 作品 テーブル班・インスタレーション班 試作品の作成・本制作
- 打ち合わせ atre川崎に提出する企画書の作成、備品拝借個数算定
- 広報 キャンドルナイトを呼びかけるSNSによる告知、HPによる告知、atre川崎HPによる告知

12月中旬～

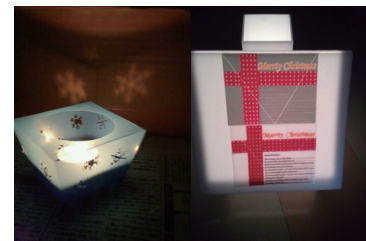
<インスタレーション班>

- 作品の施策・スタディ・配置計画の検討
- omiya campusでの改善点が上がったもののブラッシュアップを行う。床面に使用するOPPシートの面積を増やす、ツリーを参加型としクリスマスツリーに見立てるためカップに差し込むクリアファイルのカラーの割合検討、各作品の大量生産を行う。また、新たにポップアップの一枚扉をスノマ・ケント紙・プラスチック段ボールで作成。
- 作品の施策・完成・最終確認、シフト表作成、配置計画完成
- 各作品個数
- | | | | |
|---------------------------|------|---------|-----|
| メッセージクリアファイル | 300枚 | カップ | 7着 |
| ポップアップ(w1300*d1300*h1000) | 3個 | 傘 | 2本 |
| ポップアップ一枚扉(w1820*h1600) | 2枚 | 気泡緩衝ボール | 20本 |

<テーブル班>

- テーブル上、周辺に置く作品の施策・スタディ
- 同様にomiya campusでの改善点が上がったもののブラッシュアップを行う。サンタにおいては、火を灯した時に暗くなるのを防ぐため装飾を簡易にするなどの工夫を施す。よりサンタクローズらしく見せるため、プレゼントや土台のそりなどを一緒に配置。また、お家においては、クリスマスメッセージカードを家の煙突に引掛け吊るし、鮮やかな光も表現。新たに雪の結晶をクリアファイルで作成し、影と型の双方で机上の降雪も取り入れた。

<atre川崎HPによる告知>



2012年度 学生プロジェクト活動状況報告書【12月号】



○各作品個数

サンタクロース 40個

土台ソリ 20個

メッセージカード 20枚

お家 20個

結晶Box 20個

OPPシートポール 20個

12月22日 candle night@atre川崎 当日

12月22日(土) 17時~21時 candle night 開催





●イベント当日の状況

イベント当日は午前中に雨が降ったということもあり、気温が低く、椅子と机に露がふき、来訪者の方々にゆっくり座って頂けなかった。しかし、作品への称賛の声は多く頂けた。2時間で交換する予定だったサンタクロースは予想よりも形が崩れることなく点灯したため4時間そのままにして使用した。その結果、多少溶けている部分が見受けられ、予定通り2時間で交換すべきであった。このことから、試作段階での点火実験の必要性を感じた。作品の美しさのみならず、準備効率、耐久性についても深く考える必要がある。

また、作品に関して一部紙などの湿気に弱いもので作成しており形が崩れることが目立ち、防水スプレー等臨機応変に対処すべきであった。

キャンドルナイト来場客数 **約400人**
参加型ツリーによるイベント参加人数 **約200人**

今後の活動計画、目標、意気込みなど

我々candle nightが学生プロジェクトとして活動し始めてから2年目になり、昨年1年目ということで、エコに関することも取り組み、活動を行いました。学生プロジェクトとしての認知度の低さからエコのことも認知されない状況であった。そのため、今年2年目は昨年の経験を活かし、“学内での認知度向上”を目標に掲げました。8月の時点で目標として掲げた“学内での認知度向上”はcandle night@豊洲キャンパスにおいて達成したと思われ、さらに学内のみならず地域住民や学外生からも賞賛のお声を頂き、更なる認知度向上が図れたと感じます。

2012年最後に行ったatre川崎でのキャンドルナイトでは、芝浦工業大学candle night初となる企業とのコラボレーションであったため、私達にとって良い経験となり、自信へとつながりました。

そこで、今後の目標として、もう一度原点に戻り、エコ活動（現段階では廃油を活用したキャンドルや環境強化週間へのコラボレーション）の推進を行い、関わっていきたいと考えております。また、新たに私たちが主体ではない、サポート役による他団体とのコラボレーション企画も行いたいと考えています。

以上を踏まえた上で私たちは、

“ エコキャンドルの推進
キャンドル本来の火の良さを知ってもらう
candle nightの客体的なコラボレーション ”

を掲げます。

今後の活動計画として、夏至・冬至のcandle night（主にインスタレーション）、キャンドル教室（実際にキャンドルを作成してもらう）を基に行います。認知度向上に向けて広報活動にもより力を入れ、積極的に他団体とコラボレーションし、キャンドルにとってエコとは何か今一度振り返り、皆さんと共に楽しさと感動を伝えられるよう誠心誠意努力していきたいと思えます。

今後ともcandle nightを宜しくお願い致します。

